

令和7年度 事故報告集計表(県発注工事等:休業4日以上)

R7.4.1～R8.3.31

番号	管内	分類	発生日	性別	年齢	負傷状況	内容
1	秋田	激突され	R7.4.25	男	50	負傷	悪天候が予想されたため雨具(カッパ)を着用して重機操作を行っていた。据付作業回転時、雨具にレバーが引っ掛かり急旋回となり被災者と接触した。
2	鹿角	墜落・転落	R7.5.1	男	65	負傷	4t車から鉄板を下す際、吊り金具を鉄板に取り付ける作業中、既存の蓋掛け道路側溝(深さ 30cm)の現場打ちコンクリート蓋(カーブ部分の蓋の隙間を埋めるための現場打ちコンクリート)を踏み抜き転倒した。
3	秋田	はさまれ・巻き込まれ	R7.7.18	男	68	負傷	路盤材の運搬中のトラックが作業員を轢いた。
4	平鹿	はさまれ・巻き込まれ	R7.7.23	男	30	負傷	クレーン付きバックホウで敷鉄板をダンプトラックに積み込み作業中、敷鉄板が横ずれし、作業員の足が敷鉄板とトラック荷台のアオリの間に挟まれた。
5	北秋田	はさまれ・巻き込まれ	R7.7.23	男	29	負傷	排水路工で使用する可変側溝(KKC-0504)を、ストックヤードから使用する現場へ運搬する際、吊り荷が作業員の足へ落下し足を挟まれた。
6	鹿角	墜落・転落	R7.8.26	男	57	負傷	倉庫内のクレーンを使用し路床改良材(セメントtパック)を4tダンプに積み込む作業中にダンプ荷台から転落した。
7	平鹿	墜落・転落	R7.8.27	男	48	負傷	搬入車荷台から脚立を使用して降りる際、踏ざんから足下を滑らせてしまい、右膝を捻りながら転倒してしまい、負傷した。
8	山本	激突され	R7.8.28	男	72	負傷	バックホウと作業員の接触事故。バックホウの旋回時に接触した。
9	山本	激突され	R7.9.1	男	18	負傷	重機にて美山ブロックを移動している際、後方へ左旋回したところ、被災者が立っており、バケットと接触した。

令和7年度 事故報告集計表(県発注工事等:休業4日以上)

R7.4.1～R8.3.31

番号	管内	分類	発生日	性別	年齢	負傷状況	内容
10	北秋田	墜落・転落	R7.9.17	男	68	負傷	キャリアダンプへの鉄板積荷作業中に荷台から転落した。
11	仙北	はさまれ・巻き込まれ	R7.10.10	男	66	負傷	コンクリートはつり作業中に、使用していたディスクグラインダーのはね返り(キックバック現象)により、はじかれたディスクグラインダーの刃が膝に接触した。
12	秋田	転倒	R7.12.8	男	56	負傷	鉄筋加工作業中に足を滑らせ転倒した。
13	由利	墜落・転落	R7.12.23	男	68	負傷	治山ダム工出来形寸法確認中(段階確認)に、バランスを崩しダム天端から3.5m下の下流側地面に足から落下した。
14	由利	墜落・転落	R8.1.8	男	79	死亡	増水の影響で川底が見えず、河川の掘れてる箇所へ落下した。
15	由利	墜落・転落	R8.1.28	男	52	負傷	搬入したコンクリートブロックに養生用のシートをかける際、飛散防止のための木材(足場板)を設置しようと持ち上げた際転落した。
16	仙北	はさまれ・巻き込まれ	R8.2.12	男	71	負傷	雪庇処理のため高所作業車のアウトリガーを設置しようとしてアウトリガーを下ろしたところ作業員の足が挟まって負傷した。
17	山本	転倒	R8.3.26	男	65	負傷	堤防小段上でポンプなどの片付け作業をしており、足を滑らせ転倒し腰を打った。

令和7年度 事故報告集計表(県発注工事:休業4日未満)

R7.4.1～R8.3.31

番号	管内	分類	発生日	性別	年齢	負傷状況	内容
1	由利	はさまれ・巻き込まれ	R7.4.21	男	47	負傷	本体方塊製作のため、型枠組立時に型枠と型枠に左指をはさみ、負傷した。
2	由利	切れ・こすれ	R7.5.29	男	52	負傷	平沢漁港浚渫への段取り替えの為、浚渫枠製作中にベビーサンダーの回転部分が左腕に接触し負傷する。
3	仙北	切れ・こすれ	R7.5.29	男	52	負傷	現場法面を上った際に怪我をしたもの(右ふくらはぎの肉離れ)
4	仙北	切れ・こすれ	R7.6.12	男	34	負傷	梁配筋写真撮影中、経路を短縮するために梁上部から飛び降りた際、近くのクランプに足をぶつけて負傷した。
5	北秋田	高温・低温物との接触	R7.6.18	男	21	負傷	加熱した防水材を一斗缶に取り分けたものを台車乗せ運搬し、台車から取り上げる際、一斗缶が台車の枠に触れ、その反動で高温の防水材が右手にかかって負傷した。
6	山本	飛来・落下	R7.7.9	男	48	負傷	バックホウのバケットに付着していた土が(バケット位置地上3m程度)、バケット近くにいた作業員に落下し頭部(ヘルメット)にあたったもの。
7	雄勝	その他	R7.7.9	男	59	熱中症	作業を行っていたが、本人より調子が悪いので休むと他の作業員に行って現場休憩所で休んでいた。昼休憩に見に行ったところ、横になっていたため病院に行くか、本人に話したところ、行くということで、代理人の車で行くことにしたが、足元がおぼつかない様子だったので、救急車を依頼した。
8	北秋田	その他	R7.7.17	男	47	熱中症	草刈り作業中に熱中症となった。

令和7年度 事故報告集計表(県発注工事:休業4日未満)

R7.4.1～R8.3.31

番号	管内	分類	発生日	性別	年齢	負傷状況	内容
9	仙北	その他	R7.7.28	男	27	熱中症	休憩後に作業に戻ろうとしたところ、手が痺れるためそのまま休憩をとった。一時回復したが、17時頃に手足がつり、自力で歩行が困難になった。
10	山本	その他	R7.7.29	男	78	熱中症	作業従事中(交通誘導)に立ってられなくなり、しゃがみ込んで自力で歩行する事が困難になる。 近くにいた作業員が気づいて救急等に連絡した。
11	秋田	はさまれ・巻き込まれ	R7.8.19	男	44	負傷	内部足場の解体作業中、とび工が足場プレス材を取り外そうとしたところ、部材に右手親指を挟めてしまい、親指先端部分を裂傷した。
12	北秋田	はさまれ・巻き込まれ	R7.9.9	男	69	負傷	鉄板の設置作業中、鉄板の間に右人差し指を挟んだ。
13	秋田	その他	R7.9.18	男	20	負傷	足場に安全帯のフックをかける際、肩が外れた。
14	秋田	飛来・落下	R7.9.24	男	40	負傷	蛇籠施工作业中にて詰石(150 mm～200 mm)をダンプトラックからバックホウにて取り込み中、荷台から落下した詰石1個を被害者は拾おうとしたときに再度荷台より詰石が落下して掴んでいた右手付近に落ちてきて被災した。
15	山本	墜落・転落	R7.9.25	男	61	負傷	作業を終え足場を降りようとした際に転落した。
16	仙北	墜落・転落	R7.10.10	男	51	負傷	階段型枠作業中、足を滑らせて転倒し、左足首を痛めた。

令和7年度 事故報告集計表(県発注工事:休業4日未満)

R7.4.1～R8.3.31

番号	管内	分類	発生日	性別	年齢	負傷状況	内容
17	鹿角	その他	R7.10.9	男	56	負傷	コンクリート2次製品をコンクリートカッターで切断中、粉塵が目に入った。
18	秋田	転倒	R7.10.20	男	40	負傷	現場内歩行中、木の根っこにつまづき、右手の子指から鉄板の上に手をついた。
19	山本	はさまれ・巻き込まれ	R7.10.29	男	66	負傷	捨石の均し作業で、捨石と捨石の間に指先を挟んだ。
20	由利	はさまれ・巻き込まれ	R7.11.5	男	43	負傷	仮設用で設置しようとしていた敷鉄板が倒れたことにより挟まれた。
21	仙北	はさまれ・巻き込まれ	R7.11.14	男	48	負傷	操作ミスによりブルドーザーが誤発進し、オペレーターが同機と接触し負傷した。
22	秋田	はさまれ・巻き込まれ	R7.12.3	男	37	負傷	圧入機のケーシング固定用の鋼製ガイドを人力で取り付ける際、矢板とガイドの間に指を挟んだ。
23	由利	激突	R7.12.5	男	68	負傷	ロータリー除雪車で車道拡幅除雪作業中マンホールに接触した。 マンホールの高さが路面より高い為、カッティング部分が接触。 首等の痛みを訴えたため救急車で搬送 マンホール及び除雪車に異常なし。
24	秋田	はさまれ・巻き込まれ	R7.12.15	男	23	負傷	ブロック製作中に前日の強風により倒れた打設足場を直そうとした時に被災者がバックハウ(クレーン仕様)から吊り下げられたワイヤーを玉掛した時に消波ブロックに打設足場の部材が引っかかっているのを確認した為外そうとした時に吊荷が吊り上げられて打設足場と型枠に右手(薬指の第1関節付近)を挟んだ。

令和7年度 事故報告集計表(県発注工事:休業4日未満)

R7.4.1～R8.3.31

番号	管内	分類	発生日	性別	年齢	負傷状況	内容
25	秋田	その他	R7.12.17	男	45	負傷	コンクリートブロックからでていたネジを切断するためサンダー(工具)を使いネジを切断中発生した削り粉が飛散し右目に入り負傷した。
26	平鹿	切れ・こすれ	R8.1.12	男	69	負傷	工事資材(マットレス材)の梱包をハサミで切っていたが、誤って自身の額にハサミがあたってしまった。
27	仙北	墜落・転落	R8.1.13	男	44	負傷	大型フリューム据え付け後、目地施工用養生屋根の組立中、フリューム天端(H=800)よりバランスを崩し、端部から水路に降りた際に左手小指をフリューム天端にぶつけた。
28	北秋田	墜落・転落	R8.1.13	男	27	負傷	除雪機から降車時に足を踏み外し落下、手を機械にぶつけて骨折した。
29	由利	転倒	R8.1.15	男	49	負傷	資材置場内に仮置きしていた大型土のうの横取り作業を行おうとしていた。大型土のうの玉掛けを行った後、吊り上げ時荷ブレの危険を回避するため後方へ退避しようとしたところ、資材置場内に設置してあるバタ角に右足が引っかかり、右膝をねじりながら横転した。
30	由利	はさまれ・巻き込まれ	R8.1.30	男	61	負傷	除雪作業車を停車し、カッティング修補中、本体バケットとカッティングの隙間に右手薬指を挟んでしまった。
31	秋田	はさまれ・巻き込まれ	R8.2.5	女	47	負傷	型枠解体作業中に使用していた脚立を閉じようとして天板に指を挟めた。
32	仙北	はさまれ・巻き込まれ	R8.2.12	男	75	負傷	バックホウのバケット交換時、誤ってバケットが落下し、作業員の指を挟み負傷した。

令和7年度 事故報告集計表(県発注工事:休業4日未満)

R7.4.1~R8.3.31

番号	管内	分類	発生日	性別	年齢	負傷状況	内容
33	山本	はさまれ・巻き込まれ	R8.2.21	男	55	負傷	土留め工として矢板を打込んでいる際に、矢板と地山に右手中指を挟んだ。
34	秋田	はさまれ・巻き込まれ	R8.2.24	男	64	負傷	ボルト本締め作業中、ボルトとナットに指をはさめ、左手親指を切った。
35	由利	はさまれ・巻き込まれ	R8.3.2	女	38	負傷	護岸工の床堀作業中に土砂崩落が発生し、作業員が足を負傷した。 床堀作業中、被災者が掘削法面に近づきすぎている。 重機による振動で地山の土砂の一部が崩れ、土砂に足が挟まれた。
36	北秋田	墜落・転落	R8.3.10	男	60	負傷	汚泥処理棟 1F の 2 号濃縮機、付属関連機器の洗浄水ポンプ分解清掃が終了したため事務所へ戻るために階段下降中、最終 2~3 段目から転落した。
37	秋田	はさまれ・巻き込まれ	R8.3.13	男	43	負傷	鉄板敷設中、バックホウの操作ミスにより発電機(20kVA)と鉄板の間に挟まれた。

令和7年度 事故報告集計表(県発注工事等:公衆災害及びその他)

R7.4.1～R8.3.31

番号	管内	分類	発生日	性別	年齢	負傷状況	内容
1	仙北	公衆災害	R7.5.1	—	—	—	敷砂利作業中に、バックホウのバケットが架空線(テレビケーブル)と接触。
2	仙北	公衆災害	R7.5.2	—	—	—	敷砂利作業中に、バックホウのバケットが架空線(NTT)と接触。
3	秋田	公衆災害	R7.5.29	—	—	—	砂丘造成のための掘削作業中に、バックホウのバケットで埋設されていた被覆管を切断し電力ケーブルを損傷させた。
4	北秋田	公衆災害	R7.6.13	—	—	—	表土剥ぎ取り作業中、深さ17cm～20cm位の所から水道管が出てきて、バックホウのバケットで埋設されていた水道管(PPφ50)を引っ張り破損させた。
5	平鹿	公衆災害	R7.6.17	—	—	—	バックホウ移動時上空の確認を忘れて移動してしまい、(株)トークネットの電線を切断した。
6	平鹿	公衆災害	R7.7.16	—	—	—	バックホウ移動時、上空の確認を忘れて移動したことにより東北電力のアース線を切断した。
7	秋田	公衆災害	R7.8.25	—	—	—	市道横断暗渠施工準備時(鉄板設置)にオペレーター不注意により架空線を切断した。
8	平鹿	公衆災害	R7.9.16	—	—	—	バックホウ移動時上空の確認を忘れて移動してしまい、(株)トークネットの電線を切断した。

令和7年度 事故報告集計表(県発注工事等:公衆災害及びその他)

R7.4.1～R8.3.31

番号	管内	分類	発生日	性別	年齢	負傷状況	内容
9	秋田	その他	R7.9.26	—	—	—	バックホウ方向転換時に光ケーブルを切断した。
10	秋田	公衆災害	R7.10.22	—	—	—	敷鉄板設置作業中に、敷鉄板を吊ったクレーン機能付きバックホウのブームが、現場上空を架空する NTT 線の螺旋状保護線を破断させた。
11	平鹿	公衆災害	R7.11.11	—	—	—	掘削作業時にNTTケーブルに接触し損傷した。
12	秋田	公衆災害	R7.11.12	—	—	—	ブルドーザーをトレーラーで運搬中、NTT架線に気づかず切断した。
13	秋田	公衆災害	R7.11.25	男女	29 75	軽傷 (4日未 満)	横山金足線を秋田市方面より 2tダンプで走行中、交差点で右折しようとしたところ反対車線を直進してきた軽自動車と衝突した。
14	秋田	公衆災害	R7.12.1	—	—	—	矢板引抜施工完了後、片付け作業に移行した際にクローラクレーンのブームの先端が高圧電線に約 2m くらいまで接近してしまい、放電事故を起こしてしまった。
15	秋田	公衆災害	R7.12.8	—	—	—	ダンプトラックにて路盤材を搬入・取卸しし、発車する際に荷台を上げたまま走行を開始してしまい、架空線(NTT)に接触したため、線にたるみが生じた。(断線、停電はなし)
16	平鹿	公衆災害	R7.12.12	—	—	—	前方の除雪車両を追い越したところ、右側に寄りすぎてしまい防雪柵へ接触した。

令和7年度 事故報告集計表(県発注工事等:公衆災害及びその他)

R7.4.1～R8.3.31

番号	管内	分類	発生日	性別	年齢	負傷状況	内容
17	雄勝	公衆災害	R7.12.12	—	—	—	北日本索道の大型トラックがS字カーブでスリップし単独事故を起こし停車していた。差し掛かったロータリ除雪車(高賢産業)が大型トラックに気づき停車。停車後に後方に下がろうとしたが、下り勾配のため滑り出し、ロータリ除雪車が大型トラックの斜め前方に衝突した。
18	北秋田	公衆災害	R7.12.26	—	—	—	道路パトロール実施中、停車していたところに後ろから普通自動車に追突された。
19	平鹿	公衆災害	R7.12.27	—	—	—	除雪作業中に路肩部へ寄りすぎたことにより、左側タイヤが脱輪し、路側防護柵へ接触した。
20	由利	公衆災害	R8.1.9	—	—	—	大型トラックが岩城 IC に右折する際に滑走し荷台がジャックナイフ状態になり、交差点で待機していた除雪ドーザーの左後部に大型トラックの左後部が接触した。
21	平鹿	公衆災害	R8.1.23	—	—	—	交差点右側から進入してきた一時不停止の車両を避けきれず接触した。
22	北秋田	公衆災害	R8.2.10	—	—	—	除雪作業中に後続車を追い越しさせるため、路肩に停車したところ後続車に追突された。
23	平鹿	公衆災害	R8.2.10	—	—	—	交差点左側から進入してきた一時不停止の車両と衝突した。
24	秋田	公衆災害	R8.2.19	—	—	—	工事作業終了後にバックホウを移動させた際、架空線(光ケーブル)にバックホウのアームが接触しケーブルを切断した。

令和7年度 事故報告集計表(県発注工事等:公衆災害及びその他)

R7.4.1～R8.3.31

番号	管内	分類	発生日	性別	年齢	負傷状況	内容
25	秋田	公衆災害	R8.3.7	—	—	—	現場構内に仮置きしていた仮設のタキロン養生が強風により飛ばされ、駐車場利用者の車と近接する男鹿マリーナの敷地境界フェンスに当たった。
26	秋田	公衆災害	R8.3.10	—	—	—	片側交互通行にて重機作業中、資材を吊り上げた状況で走行したため、当該重機のアーム部分が、道路脇F型看板と接触し、看板の一部が折れ曲がった。